



Kwansei Gakuin University Common Learning Program2017

発行：関西学院大学 教務機構
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 Tel. 0798-54-6180
http://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/

全学科目履修 ガイドブック

2017 学部の垣根を超えた多様な学び

Kwansei Gakuin University
Common Learning Program2017

教務機構長メッセージ

皆さんは普段、それぞれの所属学部の独自カリキュラムに基づき、専門科目やゼミナール等を履修し、自らの専門性を高めています。それは大学生として何よりも大切なことです。

そして、その専門性を更に高めていく上で、重要なのが「全学科目」です。

「友人もびっくりのプレゼンをしてみたい」、「専門的な力を違うフィールドで活かしてみたい」、「もっとリテラシー（言語やICTスキル等）を強化したい」、「自分の将来と専門性との結びつきをしっかりと考えておきたい」と思ったときに、「全学科目」は、使い勝手のよい「道具箱」として機能します。

学部の科目とはちょっと違ったベクトルで、自分の「学び」を強化・応用・実践できる、それが関西学院大学の「全学科目」です。試してみないのは、もったいないでしょう。

言語教育科目 グローバル社会で活躍するために不可欠な言語運用能力と多文化理解力を磨こう!

P.3

第1学年

入門英語IA・IB
 スプリング・インテンシブ・イングリッシュ
 インテンシブ・イングリッシュ
 Skills-based English
 Special English Seminar
 フランス語インテンシブ初級I
 基礎フランス語I・II
 フランス語アラカルト(聞く・話す)A・B・C
 ドイツ語インテンシブ初級I
 基礎ドイツ語I・II
 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A・B
 日本語I・II
 ロシア語初級I・II
 イタリア語初級I・II
 スペイン語初級I・II
 ポルトガル語初級I・II
 アラビア語初級I・II
 基礎中国語I・II
 朝鮮語初級I・II
 インドネシア語初級I・II

第2学年

入門英語IIA・IIB
 英語中期留学マウント・アリソン大学
 英語中期留学クイーンズ大学
 英語中期留学トロント大学スピーキング
 英語中期留学トロント大学
 英語中期留学スターリング大学
 英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学
 英語中期留学オックスフォード大学
 英語中期留学ゲルフ大学
 英語中期留学ネブラスカ大学
 英語中期留学ケンブリッジ大学
 英語中期留学クイーンズランド大学
 英語中期留学マラヤ大学
 フランス語インテンシブ初級II・III
 フランス語中期留学
 基礎フランス語III・IV
 フランス語アラカルト(読む)
 フランス語アラカルト(書く)
 ドイツ語インテンシブ初級II・III
 基礎ドイツ語III・IV
 ドイツ語アラカルト(読む)
 ドイツ語アラカルト(書く)
 日本語III・IV
 ロシア語初中級
 イタリア語初中級
 スペイン語初級III・中級
 ポルトガル語初中級
 アラビア語初中級
 基礎中国語III・IV
 中国語中級
 朝鮮語初級III・中級
 インドネシア語初中級

第3・4学年

フランス語インテンシブ中級
 ドイツ語インテンシブ中級
 ビジネス日本語A・B・C

スポーツ科学・健康科学科目 身体運動や心身の健康について学ぼう!

P.4

第1学年

スポーツ科学講義A・B・C・D
 健康科学講義A・B・C
 体育方法学講義A・B・C
 余暇生活学講義A・B・C

スポーツ科学演習A・B・C・D・E・F
 健康科学演習A・B・C・D・E
 体育方法学演習A・B・C
 余暇生活学演習A・B・C・D・E・F

情報科学科目 情報化社会をリードするICTスキルを修得しよう!

P.5

第1学年

コンピュータ基礎
 コンピュータ実践

コンピュータ言語
 文科系学生のための情報技術入門

第2学年

情報技術概論

グローバルスタディーズ科目 多様な国際教育プログラムでの学びで“グローバルな視野”を修得!

P.6

第1学年

Language and Communication
 Culture and Society
 Academic Writing and Presentation
 Project-based Seminar in English
 海外学習活動(ドイツ)
 English for Cross-Cultural StudiesA・B
 海外フィールドワーク
 国際情報分析
 プロジェクトマネジメント概論
 プロジェクトマネジメントI
 世界市民論
 グローバルゼミA
 日本文化総論
 日本政治総論
 日本史概略
 日本企業文化論
 インドネシア交流セミナーA・B
 トルコ交流セミナーA・B
 カナダ研究入門A・B・C・D
 北欧研究入門
 留学とキャリア設計
 International Scholar's TopicsA・B
 外国大学科目
 総合日本学習科目
 CCC Introduction to Multicultural Studies
 CCC Introduction to International Relations
 CCC Cross-Cultural Workshop
 日本語教育基礎
 日本語教育基礎演習

第2学年

国連セミナー
 国連コースボランティア実習
 国連コースボランティア課題研究
 国際社会貢献実習
 国際社会貢献課題研究
 国際環境論
 教育開発論
 国際平和構築論
 プロジェクトマネジメントI・II
 International Politics and EconomyA・B
 カナダ研究マウント・アリソン大学
 国際研究マウント・アリソン大学
 カナダ研究トロント大学
 Topics in Canadian StudiesA・B・C・D
 海外社会体験実習
 海外社会体験実習(オーストラリア)
 インターンシップ準備演習(オーストラリア)
 CCC Global Internship in Japan
 CCC Field Study in Canadian Business
 CCC Global Career Seminar in Japan
 CCC Global Career Seminar in Canada
 国際社会科学入門ケンブリッジ大学
 マレー文化研究
 海外社会体験実習(マレーシア)

第3・4学年

グローバルゼミB

ライフデザイン科目 自分の将来や生き方について考え、人生観や世界観、職業観を実践的に養おう!

P.7

第1学年

ライフデザインと仕事A・B
 グローバルキャリアデザイン入門
 社会の中での自分(インターンシップ講義)
 ソーシャルスキルとチームワーク(インターンシップ演習)
 ハンズオン・インターンシップ実習

インターンシップ実習
 キャリアゼミA・B・C
 霞が関セミナー
 海外インターンシップ

基盤・学際科目 関学で学び、成長するために必要な科目を学ぼう!

P.8~9

第1学年

「関学」学
 平和学「広島・長崎講座」
 平和学特別演習「ヒロシマ」
 災害復興学入門
 災害復興学
 人権教育科目
 総合コース
 西宮市大学共通単位講座

スタディスキルセミナー
 寄附講座
 連携講座
 社会探究入門
 社会探究実践演習I
 社会探究実習I
 PBL特別演習

第2学年

総合コース
 連携講座
 社会連携プロジェクト
 社会探究実践演習II
 社会探究実習II
 コンソーシアムひょうご神戸講座

第3学年

総合コース

世界市民として必須の言語運用能力と多文化理解力を育成

世界市民として必須の言語運用能力と多文化理解力を育む科目群です。ネイティブ教員によるレベルに合わせた英語を学べる科目や、様々な言語の基礎を学ぶ科目などがあります。また、一部の海外留学、研修において修得できる言語科目や留学生のための日本語科目も含まれます。



言語教育科目のカリキュラム

■英語インテンシブ・プログラム

ネイティブ教員による少人数、週複数回の集中的な授業で、総合的な英語力をアップ。学習目的やレベルに応じて科目が用意されているので、段階的に学習することが可能です。

■フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム

週複数回の集中的な授業で、実践的、総合的な言語運用能力を身につけます。

■選択外国語科目

イタリア語、ロシア語、アラビア語などの外国語10語種を提供。言語を学ぶことを通して、世界の国の文化に触れることができます。

→詳しくは、言語教育研究センター発行
[Language Programs 2017
インテンシブ・プログラムと外国語学習のすすめ]

■日本語科目(外国人留学生対象)

大学での勉学をサポートするアカデミック日本語や、今後の日本での就職も視野に入れたビジネス日本語などより実践的な日本語を学びます。

→詳しくは、日本語教育センター発行
[日本語科目履修案内]

Check!

「英語インテンシブ・プログラム」レベル別・学習目的別の授業でレベルアップ!!

インテンシブ・イングリッシュ・コース(秋学期開始コース)※

学部で必修(または選択必修)の英語科目に代わり、オールイングリッシュでのレベル別の集中授業を履修するコース。「聞く・話す・読む・書く」の4技能のレベルアップを図ります。

申込期間: 6月12日(月)~6月23日(金) 16:00

言語教育研究センターHPよりWebで申し込み

※神・文・社会・法・経済・商・人間福祉学部が対象

Skills-based English

初級者向けの「Basic」をはじめ、レベル別の「Speaking & Listening」や「Writing」「Reading」、上級者向けの「Academic」、そして実務に活かせる「Business」や、資格ごとにスキルアップを目指す「TOEFL」「TOEIC」「IELTS」など、幅広いラインナップを用意しています。

身体運動や心身に関する知識の修得からQOL向上を目指す

身体運動や心身に関する分野を学問的体系ごとに4分野に集約し、それぞれ講義科目と演習科目を提供しています。

心身に関する知識の修得や身体運動を通じて、「Quality of Life : QOL」(今後の豊かな人生)の向上を目指します。



スポーツ科学・健康科学科目のカリキュラム

■スポーツ科学科目

スポーツ科学的視点からプロ野球選手の各種データを分析する講義科目、バドミントン、バレーボール、卓球などの競技ルールや技術の修得、体力の向上を通じて、生涯にわたりスポーツを楽しむ基礎作りを行う多様な演習科目を提供しています。

■健康科学科目

現代社会における心身の健康に関して、特に大学生に関する諸問題について学ぶ講義科目、学内トレーニング施設を主に利用しながら、健康維持、増進のためのトレーニング方法を学ぶ演習科目を提供しています。

■体育方法学科目

中学校や高等学校の教員免許取得のための科目です。学校教育や社会教育の現場で必要とされる体育・スポーツの指導方法の学習、知識、技術の習得を目的としています。

■余暇生活学科目

8月、2月に3日~5日間の集中授業で、レクリエーション活動における身体活動の知識や技術を学ぶとともに、集団生活を通じて人間関係やモラルへの理解を深めることができます。

<夏期>キャンプ <冬期>スキー・スノーボード

Pick up 科目

余暇生活学演習C 夏期アウトドア (キャンプ)



8月、実際に2泊3日のキャンプを行います。野外活動に必要な技術を修得するだけでなく、Jリーグのチームでも取り入れられているチームビルディングやコミュニケーション力を養う『ASEプログラム』の学修を通して、本来あるべき人と人とのつながりについて理解を深めることを目的としています。

余暇生活学演習D 冬期アウトドア (スキー・スノーボード)



2月、梅池高原で前半スキー(1.5日)後半スノーボード(2.5日)の実習を行います。安全かつ効率よく滑る技術、知識を学ぶことでスノースポーツの楽しさを存分に味わえるようになります。集団生活で生まれる連帯感、他者への理解も魅力の一つです。

ICTスキルで情報化社会をリード!

情報化社会を生き抜くために必要となるICTスキルの習得を目指した科目群です。

Word、ExcelといったMicrosoft Officeの基礎的な使い方だけでなく、Photoshop (画像処理) やFlash (マルチメディア) といった各種アプリケーションソフトを用いた実践的なスキルも習得できます。

また、プログラミング言語や講義などの学びを通じて、さまざまな情報科学の知識を学ぶことができます。



情報科学科目のカリキュラム

■コンピュータ基礎

大学では、授業での課題、レポートや発表資料、さらには卒業論文等をWord、Excel、PowerPointなどを使用して作成することになります。また、課題・レポートの提出には、本学のLearning Management System (LUNA) を利用する授業科目もあります。これらに対応できる基礎スキルを習得し、大学での学修活動において必要となる情報活用能力を養成します。さらに、現代社会で必要とされる情報倫理についても学びます。

■コンピュータ実践

多様なアプリケーションソフトを用いて、大学での研究や卒業後に実社会で求められる文書作成能力、データ分析力、プレゼンテーション等での表現力を養成します。また、ホームページ作成、サウンドメディア、マルチメディア等では、様々なソフトウェアを利用してパソコンによるコンテンツ制作手法の基礎を習得します。

■コンピュータ言語

Java言語、C言語などプログラミング言語を学びます。プログラミングの理解を通じて、論理的思考力や課題解決能力を養います。

■講義科目

情報技術に関する入門科目を通じ、身近に存在する情報関連機器で使われている技術とその開発、発展の歴史的背景に理解を深め、社会の一員として情報を取り扱うための知識を身につけます。

Pick up 科目

コンピュータ実践 (マルチメディア)

絵が動くアニメや、ミニゲームなどのAdobe FlashによるWEBコンテンツ制作を通して、創造的で楽しめるマルチメディア作品を作る技術を身につけます。スマートフォンのアプリの制作をする場合もあります。

知らなかった世界を知り、 知らなかった自分を知る

グローバル化した社会において、優れた“国際的視野”と“言語運用能力”を身につけることは、世界で活躍する人材へ近づく第一歩です。海外の大学で学ぶプログラム科目はもちろん、留学を目指す学生、留学を目前に控えた学生を対象とする留学準備の科目や、留学生と英語で授業を受ける科目、地域研究、国際社会や国際問題を学ぶ科目などが用意されています。



グローバルスタディーズ科目のカリキュラム

■海外で学ぶ科目

海外の大学で学ぶプログラム、インターンシップ、国際ボランティア、海外の大学生とのジョイントプログラムなどさまざまなプログラムが用意されています。

■留学前に学ぶ科目

留学経験や外国語能力をキャリア設計にどのように活かすのかを考える科目、留学先の国や地域について学ぶ科目、留学で使える英語を学ぶ科目があります。

■日本語教育科目

外国人に日本語を教えたい学生、日本語に興味のある学生対象の科目です。交換学生への会話練習や生活補助をする「日本語パートナー制度」に興味がある人にもおすすめです。

■英語で学ぶ科目

交換留学で来日している留学生と一緒に英語で日本や近隣地域について学ぶ科目、世界から来日する客員教員が担当する科目などが英語で開講されています。クロス・カルチュラル・カレッジ (CCC) (P. 11参照) 関連科目もあります。

■グローバル社会で活躍する人材を目指す科目

国際社会の課題や世界情勢を理解するための科目、情報分析や課題解決の手法を学ぶ科目があります。世界で活躍するために自らの力を高めましょう。

→詳しくは、国際教育・協力センター発行
「国際教育・協カプログラム募集要項」

■「英語コミュニケーション文化」副専攻プログラム科目

英語圏の文化と英語によるコミュニケーションを総合的に学ぶ科目です。ネイティブ教員が全クラスを担当します。

→詳しくは、言語教育研究センター発行
「Language Programs 2017
インテンシブ・プログラムと外国語学習のすすめ」

Pick up 科目

世界市民論

「貧困」「人権」「教育」「保健衛生」「外交問題」など国際社会に横たわる課題とそれらの解決に貢献する事例を紹介し、実際に社会の中で活躍している関学OB/OGからのリアルな経験談を学びます。その上で、大学において専門領域を如何に学び、国際関連プログラム等をどう活用するのか、スクール・モットー“Mastery for Service”の精神をどのように体現していくのかについて考えます。

「社会で求められる能力」を体系的・実践的に鍛える

企業や官公庁で働く社会人の方々による実践的な講義や実習を通し、ビジネスマインドを養うとともに、社会の仕組みや職業への理解を深め、自らの将来・生き方を考える機会を提供します。



ライフデザイン科目のカリキュラム

■キャリアゼミ

社会の第一線で活躍している経営者、本学OBOGや企業にご協力いただき、グループワークやプレゼンテーションを通じて、社会に出て活躍するための実践力を鍛えるため、以下のA,B,Cの3つのクラスを提供しています。

[A]: 社会人OBOGとのセッション等を通じて、これからの人生をイメージし、大学生活をどのように過ごしていくかを考える導入的な位置づけの科目です。

[B]: 「世界トップシェアを取るには?」、「当社だからできるビジネスとは?」など、トップ企業の経営課題にチームで取り組む問題解決プロジェクト型の科目です。

[C]: 経営者とのセッション、自分たちで取材したい企業を探してヒアリングを行うフィールドワークなど、大きな視点とアグレッシブな行動力を養うプログラムです。

■インターンシップ準備科目・インターンシップ実習

インターンシップへの参加や社会人になる前の準備として社会の一般常識や基礎知識を学ぶ講義科目、少人数でのグループワークでコミュニケーション能力やビジネススキルを高める演習科目があります。

これらを経て、インターンシップに参加することで学びを深めることができます。また、条件を満たせば「インターンシップ実習」として単位認定ができます。

■霞が関セミナー

中央省庁で働く現役官僚の方々を講師に迎え、日本の行政について学ぶセミナーです。仕事内容や求められる人材像などを聞き、将来を見据えた学生生活のプランを描く機会とします。

■ハンズオン・インターンシップ実習

夏休みや春休みの約1ヶ月間に亘って実施する課題解決・企画提案型の実践的なインターンシッププログラム。以下は受入機関・企業等での過去のプロジェクト実践例です。

- 石川・能登: 古民家を活用した体験プログラムの企画・実施、老舗和ろうそく店の海外販路拡大etc
- 岐阜・高山: 店舗リフォムの空間コンセプト作り、ゲストハウスの新規宿泊プランの企画・実施etc
- 岡山・笠岡: 空き家を活用した新規事業立ち上げ、まちづくり協議会で地域資源発掘etc
- 大阪・尼崎: 清掃業を営む企業で学校現場の課題・ニーズ調査、金属加工メーカーで売り上げ向上企画提案etc

Check!

当該科目に関する各種スケジュールについては、概ね以下の通りです。
(時間・会場等の詳細はKGキャリアナビ・教学Web等でお知らせします。)

| 春学期 | 秋学期 |
|--|---------------------------------------|
| 5月: インターンシップ説明会(キャリアセンター主催) 「ハンズオン・インターンシップ実習」説明会 | 10月: 11月: 「ハンズオン・インターンシップ実習」説明会 |
| 6月3日: 「ハンズオン・インターンシップ実習」マッチング会 | 12月: 「ハンズオン・インターンシップ実習」マッチング会 |
| 6月中旬: エントリーシート等の提出 | 12月中旬: エントリーシート等の提出 |
| 6月中旬~7月上旬: プログラムコーディネータ及び受入企業・団体との面接 | 12月中旬~1月上旬: プログラムコーディネータ及び受入企業・団体との面接 |
| 7月末~8月初旬: 事前オリエンテーション | 1月末~2月初旬: 事前オリエンテーション |
| 8月上旬~9月上旬: 受入企業・団体での実習参加 | 2月上旬~3月上旬: 受入企業・団体での実習参加 |
| 9月中旬: 成果報告会 | 3月中旬: 成果報告会 |

ハンズオン・
インターンシップ
実習

幅広い知識や視野、豊かな人間性などを育成

本学のスクール・モットーやミッションへの理解、人権・平和を含む多角的視野を育む学びなどを通じ、「Mastery for Service」を体現できる世界市民としての基盤を育成します。



基盤科目のカリキュラム

■「関学」学

関西学院の創立、戦後の復興、大学紛争での経験などの歴史から、学院及び大学の礎への認識を深め、スクール・モットーの精神を学びます。

■人権教育科目

「部落差別」「在日朝鮮人」「ジェンダー」「障害」「多文化共生」「セクシュアリティ」などの多彩なテーマをとおして、時代の変化に伴い複雑化、国際化する人権問題について学びます。

■災害復興学

阪神・淡路大震災を経験した本学ならではの科目です。災害から得た教訓をどう普遍化し、社会とどう関わるべきか学び、考えます。

■平和学特別演習「ヒロシマ」

2004年より本学と関係の深い広島女学院大学の全面的協力を得て、実施している平和学習プログラム。現地では広島女学院大学の学生と、被爆者/語り部の方からの当時の体験談を聞いたり、平和記念式典へ参列したりするとともに、8月5日~6日は実際に広島市街で国内外からの旅行者や平和記念公園への参拝者に聞き取り調査等を行うことを通じて、改めて「平和とは何か」「平和とどうかかわっていくか」について、深く考え、学ぶ機会を提供しています。

Pick up 科目

災害復興学

春学期の入門では、阪神・淡路大震災を体験し、その後も防災や復興、被災者支援にあたっている実務家やNPOの人たちに震災の教訓を学びます。秋学期では法制度やNPOとの関わりなど災害復興研究の本題を学ぶとともに、受講者たちの災害への関心を高め、格差社会における復興とはなにか、さらに命を大切にす国のかたちはどうあるべきかについて考えます。

「社会と連携」した多彩な科目で実践的に学ぶ

各学部の学問分野にとらわれない「学際領域」といわれる科目群です。社会の動向に学びながら、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけた人材の育成を目指します。



学際科目のカリキュラム

■総合コース

現代社会に潜む様々な問題を多面的に考える力を身につける科目です。多彩なテーマでの開講があり、幅広い視野や知見を獲得できます。

■スタディスキルセミナー

大学での学びに不可欠な学習スキル（論理的に考える力、読む力、書く力、話す力、聴く力）を身につける科目です。少人数クラスの実践的な学びで着実に実力がアップします。

■社会連携プロジェクト

地域、行政、企業等と連携をしてプロジェクトを実行する科目です。実践的に学びながら、コミュニケーション能力や課題解決能力を獲得します。

■社会探究入門

「平和」「環境」「コミュニティ」などをキーワードとして、現代社会の課題を解明するための思考方法や調査手法をトレーニングする入門科目です。

■社会探究実習Ⅰ・Ⅱ

「平和」「環境」「コミュニティ」などのテーマ別に住民等への聞き取り調査を行う実習プログラムです。産廃問題で知らずも耳目を集めることになった香川県の豊島（てしま）をフィールドに島の活性化の在り方を検討するプログラムと、広島県の江田島（えたじま）・平和記念公園・呉の3拠点をフィールドに原爆投下等、「1945年」を遠近法によって探究するプログラムを8月及び2月に実施します。

Check!

スタディスキルセミナーでは4種類の科目を用意しています。

「読む・書く・話す・聴く」

大学生活だけでなく社会での生活において基本である「考える」「書く」「読む」「話す」「聴く」チカラを、実践的にトレーニングしていきます。

「論文作成」

大学での学びにとって不可欠な「学術的すなわち論理的に自分の考えを表現できる文章力」を学び、論文作成ができる力を身につけます。

「文章表現」

毎回違ったテーマについての文章を書くことで、自らの考えをまとめ、表現する力を養います。

「プレゼンテーション」

少人数授業などで頻繁に求められるプレゼンテーション。説得力のあるプレゼンを行うための手法や表現力を獲得します。

学際科目のカリキュラム

■社会探究実践演習

地域社会が抱える様々な課題について、各種文献やデータの分析と綿密なフィールドワークに基づいて「深く理解」し、自らの立場で取り組むべき課題を抽出・設定し、住民等とのコミュニケーションを通じて、地域社会の課題解決に取り組む科目。授業は、週末に行う現地フィールドワークとその事前準備（理論的検討、現状分析等）を行う通常授業とを織り交ぜて実施します。2017年度は「立杭焼き」で有名な篠山市今田地区と「竹田城」で有名な朝来市和田山町が「探究」フィールドです。

■PBL特別演習

学生自らが課題を探究し、主体的に考え、行動する能力を培うことを目的に、企業や行政との連携・協力を得て実施する課題解決・企画提案型のプロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）科目。2017年度は4種類のクラスを提供します。

001: 「福島から原発を考える」

福島第一原発事故等の現状について現地でのフィールドワークを実施し、「日本の原発・エネルギー問題を考える」授業。福島県庁職員やエネルギー問題の専門家など多彩なゲストからのレクチャーも踏まえ、グループで原発やエネルギーに関連する調査研究を進め、研究成果を政策提言として発表します。

002・003: 「JETRO×産業研究所連携講座」

JETROとの連携講座。春学期は「関西企業（サービス産業）の海外進出」、秋学期は「欧州企業の海外（日本）進出」をテーマに据え、企業候補の探索・検討、海外進出の事業計画作成・発表等を行います。

004: 「富士ゼロックス兵庫㈱「志プロジェクト」」

学生が実社会における生きた経営学を学ぶ場を提供することを目的に、富士ゼロックス㈱が全国展開している大学と企業を結ぶ地域人材育成プロジェクト。授業では、学生が企業訪問、インタビュー（経営者、社員）や調査を経て、学生目線の会社案内を企画・作成、企業に発表します。



Check!

ハンズオン・ラーニングセンター始動!!

本学のSGU構想に掲げられている「ダブルチャレンジ制度」の3つのプログラムの内の1つである「ハンズオン・ラーニング」を推進するため、2017年4月より新たなセンターを開設します。

「キャンパスを出て実社会を学ぶ」実践的・体験的な全学開講の「ハンズオン科目」を開発・運営するセンターとして、「行政（地域）、企業、NGO等の各種団体との連携・協働による課題解決・企画提案型のプロジェクト演習、フィールドワーク、インターンシップ」を中心とした科目を提供します。また、従来キャリアセンターが提供してきた「インターンシップ関連科目」、「キャリアゼミ」といった科目も一体的に提供していきます。

本学ではこれまでも、社会や世界とのかかわりを教育現場で重視し、地域との包括的な連携協定をもとにした「都市再生プロジェクト」など、数々のユニークな実践型教育に取り組んできました。これらの実績をもとに、実践型学習をさらに進化させ、学生の皆さんにとって「より深い学び」が提供できるよう、プログラムの開発を進めていきます。「ハンズオン科目」の履修について相談があれば、是非センターまで気軽にお越しください。



日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム Cross-Cultural College (CCC)



Cross-Cultural College (CCC) は、典型的な多文化社会であるカナダの3大学（マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、トロント大学）と関西学院大学が協働して設置・運営するものです。異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与できる世界市民リーダーズを育成します。

◆グローバル企業の期待に応える 実践的なグローバル人材育成プログラム

CCCは、海外進出に積極的な企業約70社を対象に行ったアンケート結果に基づいて構想されたプログラムで、日加の学生が両国を行き来しながらともに学ぶ実践科目を中核に設置した「Certificate Program (CP)」（使用言語は英語）を提供しています。



CCC 修了証プログラム (Certificate Program) 【TOEIC®680点相当以上の英語能力を有する学部生を対象】

◆修了要件

所定のCCC修了証対象科目16単位の修得に加えて、TOEIC®820点相当以上の英語能力の証明により修了となります。修了者には、4大学が協働で運営するCCCから修了証書が授与されます。
※詳しくはCCCパンフレットをご参照ください。

◆このような学生にお勧めです

- ・グローバル社会に出る際に活かせる実践力を身につけたい
- ・英語を学ぶのではなく、「英語で学ぶ」環境に身を置きたい
- ・中期留学や交換留学などからの帰国後も英語力を維持、向上させたい
- ・早期に修了証書を手に入れて、就職活動でアピールしたい

◆カナダの学生と「協働」で学ぶユニークなプログラム

CCCは、多国籍な場面で活躍できる能力を養うべく、日本とカナダの学生が協働して課題を発見し、解決策を立案・実行する実践的な科目を中核に設置しています。2年生以上の学部生でTOEIC®680点相当以上の英語能力を有する学生が出願できます。

Global Internship

日加の学生がペアとなり、国際展開に積極的な企業・団体等で日本で約1週間のインターンシップを行うプログラムです。

※インターンシップ先(2016年度実績)
JTB、住友ゴム、住友化学、日本イーライリリー、Jリーグ、富士ゼロックス 他



Global Career Seminar

日加学生混成のグループを組み、企業・団体等から提示された国際展開等に関する課題について、解決策を立案するプログラム。グループ内でディスカッションを重ね、最終的に企業への発表を行うことで、多国籍な場での合意形成を体感します。

※協力企業・団体(2016年度実績)
日本：トヨタ自動車、カナダ大使館、リコー 他
カナダ：Toyota Canada、Yamaha Canada Music、Air Canada 他



◆プログラム詳細について知りたい方は…

★説明会に参加！

プログラムの概要、夏に実施する交流プログラムの説明を行います。

★CCCホームページにアクセス！

http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/c_ciec_005766.html

説明会開催

4/8(金)、12(火)、14(木)、18(月) 12:45-13:25

西宮上ヶ原キャンパス G号館223号教室

4/13(水) 12:45-13:25

神戸三田キャンパス Ⅲ号館102号教室



平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択事業 関西学院大学「グローバル・アカデミック・ポート」構想

創立以来、「世界市民」の育成をめざして国際教育を積極的に推進してきた関西学院大学。

その豊富な実績と構想が認められ、平成26年度文部科学省の支援事業「スーパーグローバル大学 (SGU)」に採択されました。

これを機に、多様性を学ぶ「国際性豊かな学術交流の港」を構築し「ダブルチャレンジ制度」を創設するなど、国や地域の垣根にとらわれず世界を駆け巡り、競い合い、支え合って協働できる「世界市民」を育てます。

挑め、新たな世界に！ 全学生が挑む「ダブルチャレンジ」

全学生が所属学部の主専攻の学び（ホームチャレンジ）に加え、異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。アウェイチャレンジは以下の3つのプログラムから構成されています。是非、在学中の4年間を通じて多様な『チャレンジ』に取り組み、自らの可能性を拓いてください。

アウェイチャレンジ

国際プログラム

「日本を出て、世界を知る」

例：交換留学、中期留学、外国語研修、インドネシア交流セミナー、国連セミナー、海外インターンシップ、海外フィールドワーク など

ホームチャレンジ



(各学部・専攻での学び)

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、他分野を学ぶ」

主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、複眼的な視野を身につけます。

例：複数分野専攻制プログラム、
複数分野専攻制特別プログラム<CCS>
複数分野専攻制特別プログラム<国連・外交プログラム>

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム (実践型学習)

「キャンパスを出て、実社会を経験する」

例：インターンシップ実習、キャリアゼミ、社会連携プロジェクト、社会探究実習 など

詳しくは『「ダブルチャレンジ」プログラムガイド2017』で確認してください。
教務機構事務部や各学部・センター事務室で配布しています。



KG学士力

関西学院大学の学生が、関西学院のめざす人間像である「Mastery for Service」を体現する世界市民」となるために、卒業時に学部の違いなく共通して身につけておくべき知識・能力を「KG学士力」とし、以下のように定めています。

“Mastery for Service”を体現する世界市民をめざし、キリスト教主義教育をとおして、世界への視野、幅広い知識、深い専門性、豊かな人間性と自らを律する強さを身につけ、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くために貢献しつづける力

(具体的要素)

1 [関心・意欲・態度]

自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

- ・自らを律する強さを持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
- ・世界への視野をもって、社会への深い関心を抱き、生涯にわたって学び、考えていく意欲を持っている。

2 [知識・理解]

幅広い知識と深い専門性

- ・社会、文化、人間、自然についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
- ・専攻分野の知識を体系的・構造的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている。

「KG学士力」は、キリスト教主義に基づく本学の学部教育、それらを補完する全学科目によって育まれるとともに、学生生活（正課外教育や課外活動等）を通してさらに深化・強化されるものであります。また、各学部のディプロマ・ポリシーは上記の「具体的要素」をもとに、各学部の専門性と個性を生かして別途設定されています。

3 [技能・表現]

実践的な学習技能とコミュニケーション力

- ・情報収集力、データ分析力、論理的思考力、表現力などの技能を身につけている。
- ・日本語と特定の外国語をもちいて、他者と円滑にコミュニケーションできる力を身につけている。

4 [思考・判断]

課題解決のための総合的思考・判断力

- ・現代社会における課題に取り組むための課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

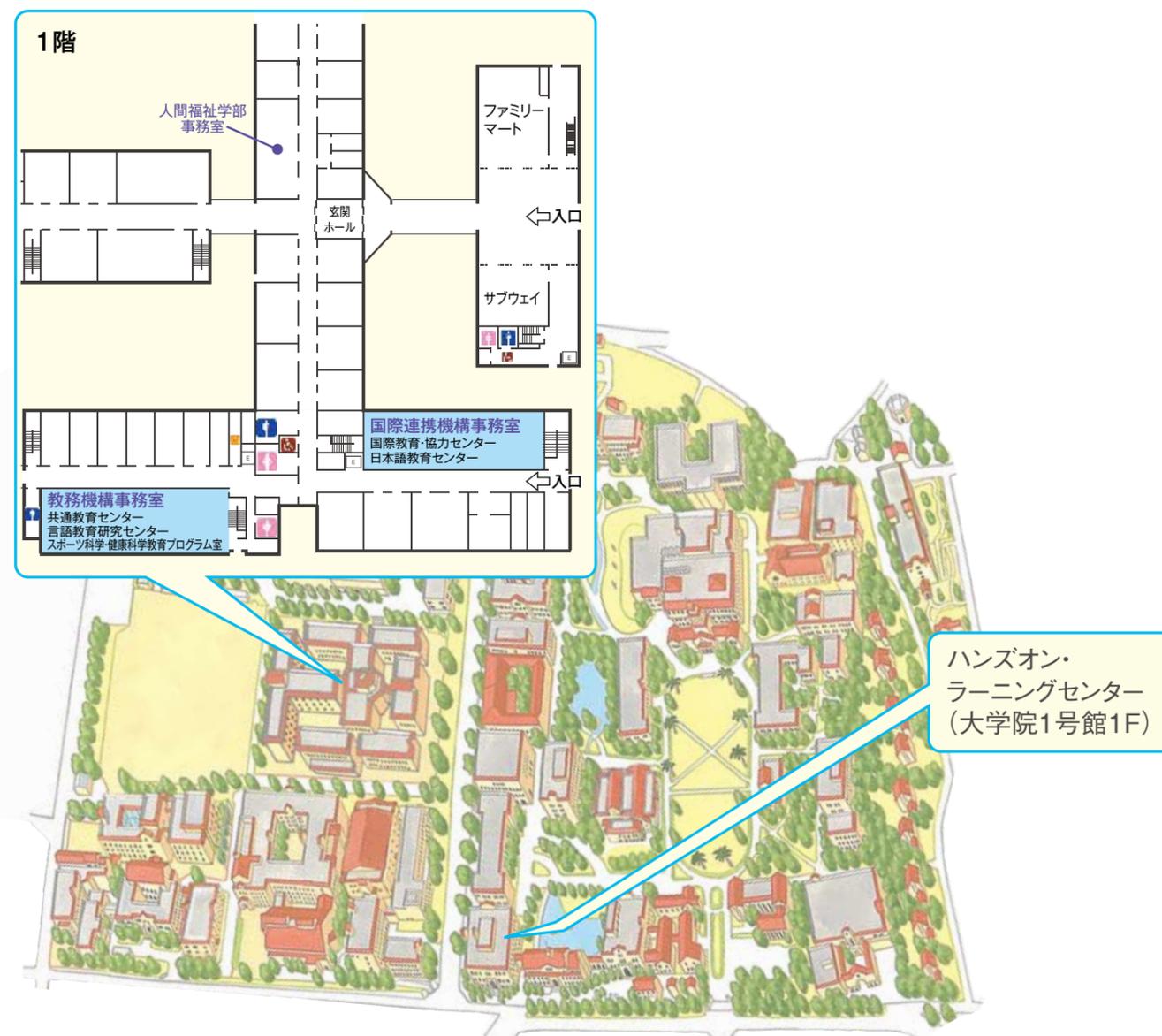
2017年度 履修登録・授業スケジュール (概要)

| 【春学期】 | | 【秋学期】 | | |
|----------------|--------------|----------------|--------------|---------------------|
| 4月 1日(土) 8:50~ | 4日(火) 16:50 | 9月 7日(木) 9:00~ | 8日(金) 16:00 | Web申込科目受付(学部・全学科目) |
| 4月 5日(水) 15:00 | | 9月12日(火) 12:30 | | Web申込科目抽選結果発表(学部科目) |
| 4月 6日(木) 8:50 | | 9月14日(木) 8:50 | | Web申込科目抽選結果発表(全学科目) |
| 4月 7日(金) | | 9月20日(水) | | 授業開始 |
| 4月 7日(金) 8:50~ | 10日(月) 16:50 | 9月20日(水) 8:50~ | 22日(金) 16:50 | 履修登録受付(Web) |
| 4月13日(木) 8:50~ | 14日(金) 16:50 | 9月27日(水) 8:50~ | 28日(木) 16:50 | 履修修正登録受付(Web) |

注意!

上記スケジュールはあくまでも概要であり、科目によっては履修登録のスケジュールや登録方法が異なるものもあります。履修を希望する科目の申込方法やスケジュールに関する詳細情報は、所属学部が発行する「履修心得」等や科目提供センター等が発行する各種冊子で十分に確認するようにしてください。

G号館 MAP



全学科目カリキュラムポリシー

関西学院大学では、「Mastery for Service」を体現する世界市民」をめざし、学生が卒業時に学部の違いなく共通して身につけておくべき知識・能力を「KG学士力」として定めています。関西学院大学は、学生が「KG学士力」を身につけていくにあたり、学生の所属学部における専門的な学びを補完し、幅広い知識や視野、豊かな人間性等を育むことを目的として、全学科目を以下のとおり体系的に提供しています。

言語教育科目

グローバル化する社会において求められる多様な言語を高度に運用する能力を養成する。

情報科学科目

情報化社会を生き抜くために必要となるICT (Information and Communication Technology) スキルの習得を通して課題解決能力を養成する。

ライフデザイン科目

自らと社会を知り、自らの将来をデザインする実践的かつ体系的な学びを通じて社会で求められる人間力を養成する。

スポーツ科学・健康科学科目

身体運動や心身に関する知識の修得とその実践を通してQOL (Quality of Life) の向上を目指す。

グローバルスタディーズ科目

グローバル化する世界情勢や異文化への理解を深め、国際社会の発展に貢献できる世界市民を育成する。

基盤・学際科目

本学のスクール・モットーやミッションへの理解、人権・平和を含む多角的視野を育む学びなどを通じ、「Mastery for Service」を体現できる世界市民としての基盤を育成する。